

令和6年度 村上地区区長会要望事項

1. 側溝清掃等の環境改善補助金制度の創設について

本件については、平成30年度から継続して関連の要望を行っているところです。昨年度の回答では、過去のアンケート結果等により状況把握が進んだため、補助金創設に向けた制度内容について研究を進め、予算措置も含めた検討を進めるとしていたところです。

しかし、要望は市街地の限定的な地域にとどまっていることなどを理由として実施は見送りとなったこと、また今後は地域まちづくり組織が行う課題解決型の事業として進めることができないかなどを地域と検討していくことについて、今年度の地区区長会総会の場で報告されたところです。

当会としては、「市民協働のまちづくり」の考え方は理解するものの、従来から住民の共同作業により実施されてきた側溝清掃も、世帯数の減少や住民の高齢化のため実施が困難となりつつあり、業者への委託により清掃を行っている町内が増えているという現状です。町内における高齢化の実態や自治会予算への影響などを十分考慮いただいた上で、補助金創設に向けて再考いただきたく再度要望いたします。

【回答】

側溝の清掃については、雨水や雑排水の接続先となっていることから、地域の皆様による清掃をお願いしてきたところです。

市といたしましても、軽量の側溝蓋への取替えを行い、作業負担を少しでも軽減できるように改修を進めているところですが、側溝清掃が自治会にとって負担となっていることについて、負担となっている内容を踏まえながら支援制度について検討してまいります。

(回答：環境課)

2. 私人が管理すべき水道管修繕に対する補助制度の創設及び水道管情報の整備について

自宅前道路に埋設されている水道管から水漏れが発生した場合、ほとんどの方は市が修繕を行うものとして認識されていると思われます。しかし現実には、市管理の管と私人（個人）が管理すべき管が混在しており、個人管理の管の場合は受益者が修繕費を負担するというのが、町内で漏水があり修繕を依頼した際に判明しました。今後水道管の劣化・老朽化が進み修繕の必要性も増加することが予想されますので、個人が行う修繕への補助制度創設を要望するものです。

また、市が管理する管と私人が管理すべき管がしっかりと判別できるような台帳整備を進めるなど、管理体制の強化についても併せて要望いたします。

【回答】

宅地開発業者や個人で埋設した私設水道管については、管の所有者に管理していただいています。市が管理とすることが出来る場合もありますのでご相談ください。現在のところ、市では水道施設や水道管の老朽化対策を優先的に行っており、補助金の創設については予定していません。

また、水道台帳については、給水装置工事申込の資料を反映してデータ化しておりますが、建設年次が古いものの中には不明なものもありますので、管理区分の確認に努めてまいります。

(回答：上下水道課)

3. 市道周辺の刈払い作業に伴う消耗品及び燃料費の支給について

広大な面積を有する村上市では、市道路線数も多いことから刈払い等の管理が行き届いていない路線が散見されます。町内によっては、環境美化と交通安全（見通しの確保）のため、市道周辺の刈払いを自主的に行っている事案もございます。自主的な作業であるため、刈払い機や刈刃、燃料は個人の持出しによるものです。

市道管理の現状や、地域まちづくり組織の環境整備活動に対する町内向け助成制度についても承知しているものですが、市のインフラ管理の責務という点から、住民主体の作業に対して消耗品等の支給や助成について検討いただきたく要望いたします。

【回答】

市道の草刈りについては、交通が多い箇所や見通しの悪い箇所を年1回実施していますが、実施範囲が広大で作業に時間がかかるため、行き届かない箇所を隣接者や地元自治会等、地域の皆様のご協力により実施していただいているところです。

作業者の安全対策や事故防止対策を含め、負担軽減策を検討してまいります。

（回答：建設課）

4. 指定緊急避難場所及び指定避難所の充実・強化について

村上市洪水・土砂災害ハザードマップによると、国道7号沿いのイオン村上東店付近から上助刈交差点までは浸水被害が想定されていない区域であることが分かります。この区域内の商業施設の駐車場を指定緊急避難場所として、夜間でもトイレ利用を可能とするなど、避難体制の充実・強化について要望いたします。

また、現行の指定避難所について、車いす利用者や身体に障がいをお持ちの方からは、段差や和式トイレが支障となるため避難をためらう、避難したくないなどの声が聞かれます。そのため、バリアフリーの施設を避難所として指定することや、今後の駅前開発に際し対応可能なスペースの創出など、全ての方が安全に避難行動を実施できる体制構築をお願いいたします。

【回答】

ご要望の商業施設の駐車場については、土砂災害警戒区域に指定されている区域が多く存在しています。また、商業施設の駐車場には、調整池の機能を持たせている場合もありますので、大雨時には必ずしも安全とは言えない場所があると認識しています。ご要望の区域以外にも洪水の浸水想定や土砂災害警戒区域の無い場所がありますので検討してまいります。

現在の指定避難所については、ご指摘の点を踏まえてバリアフリー化に努めてまいります。併せて、村上駅周辺まちづくり事業により整備される施設につきましても、災害時に避難所としての機能を果たすことを念頭に検討してまいります。

（回答：総務課、都市計画課）

5. 山居山周辺におけるサル対策の強化について

本年7月に山居山からサルの群れがふもとの複数町内に出没し、住宅敷地内への侵入や畑作物への被害が確認されています。その際爆竹などによる追い払いが実施されましたが、一過性の対策では効果が薄いことや根本の解決にはつながりにくいことも指摘されています。

侵入を防ぐための電気柵の設置や侵入緩衝帯となり得る山林整備の促進など、具体的な対策強化について要望いたします。

【回答】

7月のサル出沒時には住民と行政が一体となって追い払いを行ったほか、山居山周辺一帯に檻を設置して抑制を図ったところ です。住民と行政が協力し、繰り返し対策を講ずることはサルを遠ざけることに 対して有効であると考えております。今後も鳥獣を引き寄せにくい環境整備対策について研究し、有害鳥獣対策の推進に努めてまいります。

また、庭の果樹を採り残さない、野菜など餌となる物を屋外に置かないといった、サルを引き寄せない活動は有効な対策ですので、地域においても継続して実施していただくようお願いします。

(回答：農林水産課)

6. 観光振興のためのトイレ整備について

当地区には、村上大祭や町屋イベントを中心に多くの観光客が来訪されます。さらに「村上祭の屋台行事」のユネスコ無形文化遺産登録が実現すれば、より多くの観光客が見込まれるところ です。

多くの観光客受入れのためには、地元産材を利用した特長あるトイレの整備が必須であると考えます。屋台巡行や町屋イベントを考慮して、トイレの整備が進むよう要望いたします。

【回答】

本市にお越しいただいた皆様に快適にお過ごしいただくため、公共トイレの整備は重要な事項であると認識しています。現在、来訪されるお客様向けの公共トイレとして、上町町家広場、市役所庁舎、クリエート村上、町屋造観光案内所をご利用いただいております。また、村上信用金庫様には小町の安善小路に「みんなのトイレ」を設置していただき、来訪されるお客様にも喜んでいただいていることに対し、感謝申し上げる次第です。

町屋イベントなど来訪されるお客様に対する公共トイレについては、更なる利便性の向上を目指しながら、来訪者の動向も踏まえつつ、整備を検討してまいります。また、村上大祭においては常設トイレのほか仮設トイレも含め必要とされるトイレの数や位置を関係団体と協議してまいります。

(回答：観光課)